

【2】 生徒の実態

1. 生徒の実態

表1 高等部生徒の実態

学年	生徒数		主な障害	本校への入学時期
	男	女		
1年	5	3	・自閉的傾向 ・ダウン症候群	小学部→3名 中学部→3名
	8		・てんかん ・内分泌疾患	高等部→2名
2年	4	5	・ダウン症候群 ・プラダウィリー	小学部→3名 中学部→3名
	9		・2q-症候群 ・水頭症	高等部→3名
3年	8	1	・孔脳症 ・自閉症 ・てんかん	小学部→4名 中学部→1名
	9		・ウィリアムス症候群	高等部→4名
計	17	9	入学時期 小学部→10名 中学部→7名	
	26		高等部→9名	

高等部は1学年1学級制である。今年度の高等部は26名の生徒で編成されている。そのうち男子が17名、女子が9名と男子の生徒数の多い構成になっている。

2. 生活マップによる生徒の実態

家庭を中心とした生徒の生活の様子を調べた「生活マップ」をまとめると、表2のようになる。帰宅後や休日の過ごし方をみると、保護者と一緒に、または一人で、釣り・散歩等の余暇活動を楽しんでいると見られる生徒がいる反面、普段の学校での生活で見られるその生徒の持っている力に比べて行動範囲が狭く、充実した家庭生活を送っているか疑問に感じられる生徒も多く見られる。

表2 生活マップのまとめ(高等部)

生徒	学校まで	スーパー	病院	その他
A	徒歩	○	○	自販機 公園
B	徒歩	○	○	図書館 書店
C	車	○	○	祖父母宅 交流センター
D	自動車・バス	週1	○	祖父母宅：月2 鳥取市内：週1
E	バス	○	○	教会：月1 学習室：月2
F	車	○	○	コンビニ
G	車・バス	○	○	理髪店：月1 レンタルショップ：月1 自販機：月1 祖父母宅：月1 果樹園：月4 JR因幡社駅周辺：毎日
H	バス	○	○	自宅周辺 パン屋：月2 祖父母宅
I	バス	○	○	散髪屋 公園 祖父母宅
J	自動車・バス	週1	○	コンビニ 友達宅
K	自動車・バス	月2	○	コンビニ：週4 自販機：月2
L	自動車・バス	○	○	海(釣り) コンビニ 図書館 100円ショップ 祖父母宅 自販機 家族でアウトドア
M	バス	月4	○	個人商店：週1 書店：月1
N	バス	週1	○	公園：週1
O	バス	○	○	テールボウリング：月2 公園 自販機 レンタルショップ：月3 コンビニ
P	バス	○	○	図書館：月1 自販機 祖父母宅
Q	バス	○	○	自販機 友だちの家：月2
R	バス	○	○	先住宅 友達宅 レンタルショップ 親戚 祖父母宅 あきひ園 交流センター
S	自動車・バス	○	○	本屋 自販機 会社 図書館
T	徒歩	○	○	テイルボウ 馬のとうろ 交流センター 回覧板をもっていく ポスト本屋 パン屋
U	バス	○	○	神社：月2 田畑
V	バス	○	○	自販機：週2 公園：週1
W	バス	○	○	図書館 自販機 祖父母宅 教会
X	バス	○	○	友達宅 祖父母宅
Y	バス	毎日	○	個人商店：週2 祖父母宅 散髪屋
Z	自動車	○	○	自販機 祖父母宅 作業所

* (○)は行き先のみの記入で、どのくらいの割合で行くのか記入のないもの

3. 自分づくりの段階表による生徒の実態

本校では、生徒の発達を「自分づくり」を中心にしていて、「自分づくりの段階表」を作成している。その段階表に本年度の生徒を当てはめてみると、表3のようになる。自分づくりの段階表の具体的な姿からみると、自分の思いを言葉や態度で表す段階の生徒が2名、「~だけど~しよう」という風に自我をコントロールできる、またはできつつある段階の生徒が16名、自分を取りまく周りとの関係を意識し、自分を見つめ直すことや自分の活動に見通しを持つことができる、またはでき始めている生徒が8名いる。

表3 自分づくりの段階表(高等部)

M.A.	自分づくりの段階	具体的な姿	めざす楽しむ姿	大切なこと・支援	児童・生徒の段階
1:6	自己の誕生期	感情・意識の育ち(自分)	「~だ」という自分の思いを言葉や態度で表す。	・援助を受けたながら自分の好きなことに取り組む。	
2:0	自己の拡大期	他者を見つめたり、相手との関係を築く(自他の分化)	・自分の思いを言葉で伝えようとする。	・いろいろなことに取り組みながら好きなことを増やす。	
2:6	自己の充実期	他者を見つめたり、相手との関係を築く(自他の分化)	・選択肢の中から「~ではない~だ」という自分の思いを持つ。	・少し先のことを楽しみにする。	
3:0	自己と自己主要の矛盾	もう一人の自分の存在(自己の形成)	・かしい自分への誇り「でも上手にできるかな」という思いを持つ。	・周囲の状況や評価を少しは意識して、自分なりに活動する。	
3:6	自願心の芽生えの時期	自分自身をコントロールできる(自己の形成)	・「~がしたい、でも今は我慢しよう」という気持ちを持つ。	・周囲の状況や評価を意識して、自分なりに活動する。	
4:6	自願心の形成期	自己をコントロールできる(自己の形成)	・成功、失敗という結果にこだわらなく、活動を楽しむ。	・他者からの評価を期待しながら意欲的に活動する。	
5:6	自己形成獲得の時期	自己形成獲得の時期	・「もつと~したほうがよい、だからがんばろう」という思いを持つ。	・自分の状況や評価をコントロールしながら活動をする。	
9:0	自己意識の芽生えの時期	自己意識の芽生えの時期	・「もつと~したほうがよい、だからがんばろう」という思いを持つ。	・自分の状況や評価をコントロールしながら活動をする。	

(西尾敏枝)